

議会だより



4月6日
三方中学校入学式

もくじ

平成26年度当初予算 P 2~P 3	一 般 質 問 P 7~P10
平成25年度補正予算 P 4	視 察 報 告 P10
常 任 委 員 会 報 告 P 4~P 6	「議員と語る会」アンケート結果報告	... P11~P15
議 決 議 案 ・ 賛 否 一 覧 P 6	議 会 の 動 き P16

平成26年度 当初予算が決まりました

一般会計歳入歳出

101億3,652万円

一般会計の注目すべき主な事業

□イメージアップ・PR事業 [政策推進課]	1,540万円	町制10周年の節目を迎え、記念事業を開催する。
□若狭瓜割エコビレッジ推進事業 [政策推進課]	2,183万円	天徳寺の町有地を含めた瓜割名水公園周辺において、環境と自然エネルギーを考慮したモデル地域を構築する。
□臨時福祉給付金給付事業 [福祉課]	6,467万円	消費税率の引き上げに伴う、低所得者への負担軽減措置としての臨時的な給付金を支給する。
□子育て世帯臨時特例給付金給付事業 [福祉課]	2,518万円	消費税率の引き上げに伴う、子育て世帯への負担軽減措置としての臨時的な給付金を支給する。
□生活習慣病重症化予防事業 (新規) [健康課]	314万円	特定検診結果で重症化になる可能性のある対象者に対し、生活習慣改善のための保健指導を行う。
□観光まちなみ魅力アップ事業 [観光交流課]	5,020万円	既存の観光資源を磨き上げるとともに、新たな観光拠点を整備する。
□観光まちなみ魅力アップ事業 [建設課]	4億1,375万円	縄文プラザ及び縄文ロマンパークの整備を行う。また、舟小屋の復元を行う。
□舞若道全線開通記念観光誘客促進事業(新規) [観光交流課]	1,350万円	全線開通の好機をとらえ、観光誘客イベントやキャンペーンを実施する。
□社会資本整備総合交付金事業 (町道18号線改良事業) [建設課]	7,000万円	上中駅から上中体育館・上中中学校を結ぶ道路を整備し、地域住民の利便性を図る。
□地域の元気臨時交付金活用事業 (学校施設整備事業) [教育委員会]	9,070万円	学校施設環境整備
□古墳史跡保存整備事業 [歴史文化課]	300万円	昭和62年より発掘調査を実施した「向山古墳」の調査報告書を刊行する。

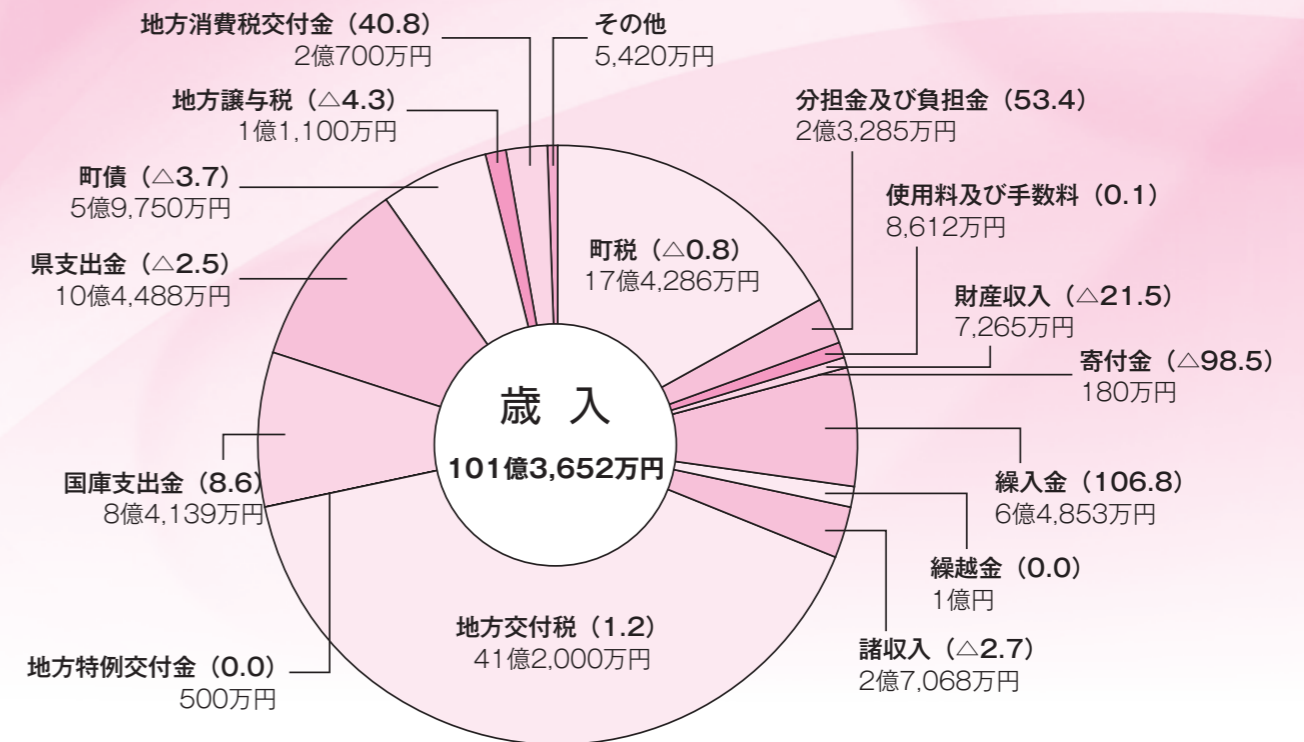
特別会計・企業会計

特別会計名	予算額	増減率%	特別会計名	予算額	増減率%
国民健康保険	18億5,638万円	△0.5	公共下水道事業	5億3,552万円	△1.5
後期高齢者医療	1億7,338万円	3.0	町営住宅等	1億315万円	△9.8
直営診療所	8,345万円	△5.6	土地開発事業	1,430万円	△92.0
介護保険	18億761万円	37.2	企業会計名	予算額	増減率%
簡易水道事業	1億5,362万円	△42.9	水道事業	2億9,239万円	18.7
農業者労働災害共済事業	176万円	△2.1	工業用水道事業	6,725万円	41.9
農業集落排水処理事業	3億9,344万円	△0.9	上中病院事業	8億1,003万円	△0.7
漁業集落排水処理事業	3,776万円	1.7	特別・企業会計計	63億3,011万円	3.9

(千円以下切り捨て)

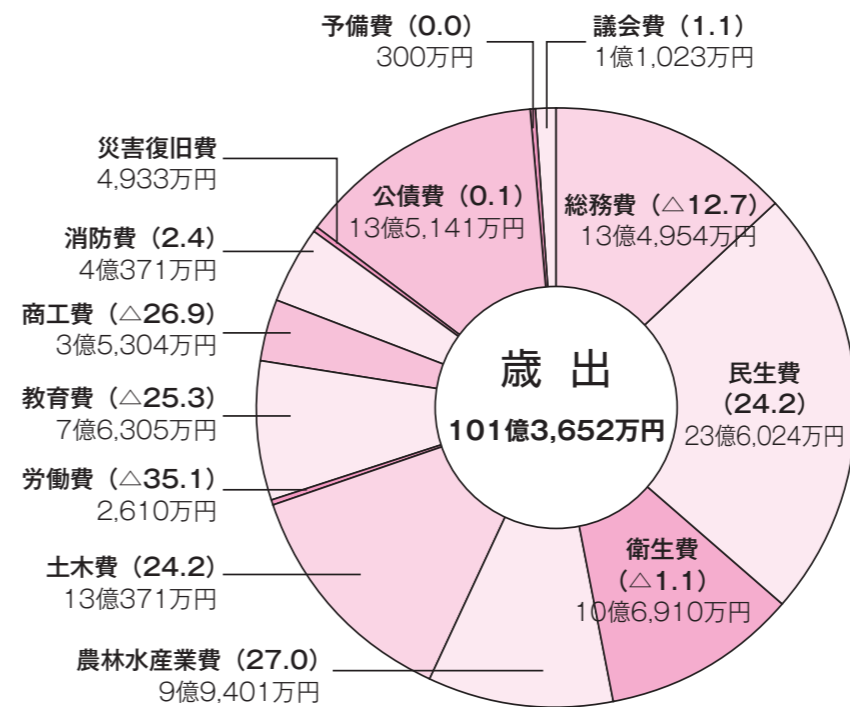
前年対比

3億7,644万円増(3.9%)



〔数値について〕
 ※万単位で表示しているため端数が一致しない場合があります。
 ※()内は増減率

自主財源 31.1%



※平成25年度は骨格予算のため、6月補正肉付け後の予算額



▲縄文プラザ整備計画地



▲舟小屋整備計画地

平成25年度 一般会計補正予算

2月臨時議会 2月13日

台風18号大雨被災復旧費 1億6,903万円を盛る。

具体的な内容

- 五湖の郷浸水被害修繕の床張替等工事 5,112万円
- 林道施設災害復旧事業 1億1,791万円

主な収入

- 国庫支出金 1億2,507万円
- 県支出金 2,246万円
- 基金繰入金 △247万円
- 町債 △160万円
- 諸収入 2,556万円



▲地域福祉推進拠点施設「五湖の郷」

3月定例会

具体的な内容

- 各事業の精算に伴う補正

主な増額による事業

- 総務費：財政調整基金費 1億7,840万円
- 民生費：障害者介護給付費事業 496万円
- 国民健康保険特別会計拠出金事業 1,293万円
- 衛生費：清掃総務費 510万円
- 農林水産業費：有害鳥獣対策事業 517万円
- 鳥獣被害防止総合対策事業 1,410万円
- 商工費：観光宿泊研修施設基金積立金事業 1,169万円
- 土木費：地域の元気対策事業 6,895万円
- 除雪対策事業 2,549万円
- 道路新設改良全般事業 1,877万円
- (★国道162号(世久見-倉見間)県営事業に係る負担金の増)
- 消防費：消防事業 △1,218万円
- 建設費：公共土木災害復旧費 △1億4,685万円

主な収入

- 町税、繰入金等で収支の均衡を図る。

補正額	予算総額
1億1,022万円	117億7,100万円

平成25年度 特別会計・企業会計補正予算

■主に精算の為に補正のみ抜粋

特別会計名	補正	予算総額	特別会計名	補正	予算総額
国民健康保険	△2,611万円	18億5,273万円	公共下水道事業	226万円	5億6,423万円
後期高齢者医療	450万円	1億7,294万円	合計	△1,261万円	55億9,166万円
直営診療所	552万円	1億2,955万円	企業会計名	補正	予算総額
介護保険	3万円	18億3,430万円	上中病院事業	72万円	7億9,841万円
農業集落排水処理事業	118万円	4億3,777万円	合計	72万円	11億4,047万円

予算決算常任委員会

二十五年補正予算

主な質疑事項

- 問** 土地開発基金繰入金、土地だけの移動か。
- 答** 道路、運動場を作る計画があるとき行政が目的を持って先行取得し、国の補助金がついたら計画して実行する。
- 問** ふるさと納税推進事業、納税者に見返りはあるのか。
- 答** 金額に応じて、梅干などの品を渡している。敦賀、最終処分場の負担金いつまで続くのか確認しないと分からないが、処分場がある限り続く。
- 問** 災害復旧の金網柵、いつ完了するのか。
- 答** 三月末の完成で進めている。
- 問** 斎場管理事業の減額は何か。
- 答** 人体の火葬が少なかった。
- 問** 梅街道の工事請負費は繰越金か。
- 答** 工事区間、今年度協定分を中日本と決めている。それによる入札差金である。
- 問** 後期高齢者医療の内容は。
- 答** 広域連合への負担金で年間確定額によるものです。

二十六年度予算

主な質疑事項

- 問** 一般会計歳入の繰入金、このごろ財政調整基金の取り崩しが多い、財政の硬直化が心配される。平成26年度見込みでの基金残高は、予定の残高は6億円余り。
- 答** 常神線のバス運賃、消費税が上がるが上げないのか？
- 問** 上げない。
- 答** 環境町づくり事業でのペレットストーブ、現在の推進状況は。
- 問** 40台定らずで、値段も高くあまり普及していない。

問 若狭 三方五湖ツアーテーマチでコースに舞鶴若狭道歩くことが入っている。いい企画なのにPR不足だと思うが、全国から申し込みが来ている。参加券を送付する時に周知することも、町民にもあらゆる手段を使って周知していく。

答 住民票等の自動交付機利用数、年間何件か。年間540件くらいである。

問 河内川ダム、町の負担金は。

答 年度割灌漑配水は27年度4130万円、28年度4380万円、29年度5770万円、30年度5200万円の予定。

問 小動物のハクビシン、アライグマが増えているが今後の駆除対策は。

答 小動物の捕獲は、報償費の2700万円の事業の中で取り組む。

問 「アソビの日記」破られていないと思うが、年間何人くらい借りるのか。

答 事件後、全て確認し破損はなかった。その後貸し出しが増えている。

問 古墳史跡保存整備事業、報告書刊行とのことだが、財政厳しきなか一般財源でなされている。文化庁の資金を導入し作成するのがベターではないのか。

答 国の補助金利用をと財政からも要求されたが、既に写真概報も出しており補助金等は受けられない。向山古墳の報告書を作ることが、次のステップになるとの文化庁の指導もある。

総務産業建設常任委員会

◆ 条例の制定及び一部改正7件、指定管理者の指定1件、町道路線の変更1件、町道路線の認定1件はいずれも全員賛成で可決すべきものと決定しました。

○ 若狭町観光交流センター条例の制定について
● 縄文フラザー 1 帯を新たな観光拠点に整備し、道の駅として登録していく中で、必要な地域の連携機能を持つ施設を設置する条例。

主な質疑事項

問 施設の中に物を作るところはないのか。野菜等を作っている生産者から、施設ができれば入りたいとの要望を聞いているが、考えは。

答 中には加工施設がなく、研修会議用の施設を利用することは可能であるが、エコファームが指定管理をしている野菜売場の方には、そのまま出していたら考えをしている。縄文フラザーの向かい側にある里山里海湖研究所があるので、時期がきたらそちらで体験ができるように考えている。

○ 若狭町道路情報発信センター条例の制定について
● 縄文フラザー 1 帯を新たな観光拠点に整備し、道の駅として登録していく中で、若狭町観光案内センターを道の駅に必要な休憩機能、情報発信機能を持つ施設の条例。

○ 若狭町行政組織条例の一部改正について
● 福祉課及び健康課の事務分掌の変更。

○ 若狭町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について
● 宿泊料の減額をするもの。

○ 若狭町一般職の職員の旅費に関する条例の一部改正について
● 宿泊料の減額をするもの。

○ 若狭町税条例の一部改正について
● 地方税法の一部改正に伴うもの。

○ 若狭町国民健康保険条例の一部改正について
● 地方税法の一部改正に伴うもの。

○ 若狭町管バスの指定管理者の指定について
● 常神・三方線
(ラインボー 観光自動車株式会社)
平成26年4月1日から平成28年3月31日まで。

教育厚生常任委員会

二十五年補正予算

主な質疑事項

- 問** 土地開発基金繰入金、土地だけの移動か。
- 答** 道路、運動場を作る計画があるとき行政が目的を持って先行取得し、国の補助金がついたら計画して実行する。
- 問** ふるさと納税推進事業、納税者に見返りはあるのか。
- 答** 金額に応じて、梅干などの品を渡している。敦賀、最終処分場の負担金いつまで続くのか確認しないと分からないが、処分場がある限り続く。
- 問** 災害復旧の金網柵、いつ完了するのか。
- 答** 三月末の完成で進めている。
- 問** 斎場管理事業の減額は何か。
- 答** 人体の火葬が少なかった。
- 問** 梅街道の工事請負費は繰越金か。
- 答** 工事区間、今年度協定分を中日本と決めている。それによる入札差金である。
- 問** 後期高齢者医療の内容は。
- 答** 広域連合への負担金で年間確定額によるものです。

二十六年度予算

主な質疑事項

- 問** 一般会計歳入の繰入金、このごろ財政調整基金の取り崩しが多い、財政の硬直化が心配される。平成26年度見込みでの基金残高は、予定の残高は6億円余り。
- 答** 常神線のバス運賃、消費税が上がるが上げないのか？
- 問** 上げない。
- 答** 環境町づくり事業でのペレットストーブ、現在の推進状況は。
- 問** 40台定らずで、値段も高くあまり普及していない。

教育厚生常任委員会

◆ 条例の制定1件、一部改正2件、指定管理者の指定2件を審査し、いずれも全員一致で可決すべきものと決定、本会議に報告しました。

○ 若狭町多目的交流広場条例の制定について

● 多目的交流広場(福井国体のグラウンドゴルフ、ゲートボール競技の会場)ができるので、これに関して条例を定めるものです。

主な質疑事項

問 テクノパーク・コースと今回のコースで、使用料は同じか。
答 テクノパークは、条例で600円、12条の減免で300円。今回、基本は600円、町内使用者は200円とするか、減免については教育委員会で考える。

○ 若狭町熊川宿公開施設条例の一部改正について



小堀 信昭 議員

町長 住宅に対する補助金活用は、太陽光発電のみで公共施設、家庭用補助事業あわせて約580KWのパネル出力である。

小堀 各区公民館に太陽光発電を設置する補助金制度がでないか。(売電で返却する。)

自然エネルギーの活用について何う

小堀 町の自然エネルギー活用は、

町長 太陽光発電のみで公共施設、家庭用補助事業あわせて約580KWのパネル出力である。

小堀 各区公民館に太陽光発電を設置する補助金制度がでないか。(売電で返却する。)

町長 住宅に対する補助金活用は、太陽光発電のみで公共施設、家庭用補助事業あわせて約580KWのパネル出力である。

小堀 各区公民館に太陽光発電を設置する補助金制度がでないか。(売電で返却する。)

一般質問

(文責：質問者本人)

世界に喧伝する年縞について

条理化できないか

町長 仮称だが「里山里海湖条例」の中に年縞の日を考えている

小堀 世界に発信するには「里山里海湖」条例ではネットで検索したとき、喧伝できない。「年縞の日」だけを主とした条例にして世界中に年縞だけで喧伝できるように再考していただきたい。

年縞について何う

小堀 年縞は世界に誇る町の財産である。今後のPR方法と、展望を伺う。

町長 県へ独自の新たな調査の実施やPRを要望してきた。県の新年度事業も予算計上されており県との連携を深めていきたい。

小堀 年縞を世界へ喧伝するために年縞について条理化できないか。

町長 年縞だけを特化した条例でなく仮称だが「里山里海湖条例」を制定させていただき、その中に「年縞の日」を考えている。

- 若狭町行政組織条例の一部改正について
- 若狭町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について
- 若狭町一般職の職員の旅費に関する条例の一部改正について
- 若狭町税条例の一部改正について
- 若狭町国民健康保険税条例の一部改正について
- 若狭町熊川宿公開施設条例の一部改正について
- 若狭町母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正について
- 平成26年度若狭町国民健康保険特別会計予算
- 平成26年度若狭町後期高齢者医療特別会計予算
- 平成26年度若狭町直営診療所特別会計予算
- 平成26年度若狭町介護保険特別会計予算
- 平成26年度若狭町簡易水道事業特別会計予算
- 平成26年度若狭町農業労働災害共済事業特別会計予算
- 平成26年度若狭町農業集落排水処理事業特別会計予算
- 平成26年度若狭町漁業集落排水処理事業特別会計予算
- 平成26年度若狭町公共下水道事業特別会計予算
- 平成26年度若狭町営住宅等特別会計予算
- 平成26年度若狭町土地開発事業特別会計予算
- 平成26年度若狭町水道事業会計予算
- 平成26年度若狭町工業用水道事業会計予算
- 平成26年度若狭町国民健康保険上中病院事業会計予算
- 若狭町国民健康保険介護サービス施設、若狭町国民健康保険生活支援ハウス及びパレオ若狭リラクゼーション施設の指定管理者の指定について
- 若狭町国民健康保険軽体操機能訓練施設の指定管理者の指定について
- 若狭町営バスの指定管理者の指定について
- 町道路線の変更について
- 町道路線の認定について
- 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

2月臨時会 2月13日に採決され全員賛成で可決された議案

- 平成25年度若狭町一般会計補正予算（第5号）

3月5日に採決され全員賛成で可決された議案

- 工事請負変更契約の締結について（若狭町上中体育館耐震改修工事）
- 工事請負変更契約の締結について（若狭町立岬小学校校舎改修工事）
- 工事請負変更契約の締結について（若狭B&G海洋センタープール改修工事）

3月13日に採決され全員賛成で可決された議案

- 平成25年度若狭町一般会計補正予算（第6号）
- 平成25年度若狭町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 平成25年度若狭町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 平成25年度若狭町直営診療所特別会計補正予算（第3号）
- 平成25年度若狭町介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 平成25年度若狭町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）
- 平成25年度若狭町農業集落排水処理事業特別会計補正予算（第4号）
- 平成25年度若狭町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）
- 平成25年度若狭町営住宅等特別会計補正予算（第2号）
- 平成25年度若狭町国民健康保険上中病院事業会計補正予算（第2号）

3月25日に採決され全員賛成で可決された議案

- 若狭町多目的交流広場条例の制定について
- 若狭町観光交流センター条例の制定について
- 若狭町道路情報発信センター条例の制定について

議員賛否一覧

議長は、採決に加わりません。 ○賛成 ×反対

議員名	採決月日	藤本 勲	松本 孝雄	小林 和弘	小堀 信昭	大塚 季由	清水 利一	小堀 友廣	武田 敏孝	福合 洋	北原 武道	原田 進男	今井 富雄	坂本 豊	辻岡 正和	島津 秀樹	渡辺 英朗	
議案等名																		
平成26年度若狭町一般会計予算	3/25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
「住民の命と健康を守る立場から、国に対して原発の再稼働審査について慎重審議を求める意見書を提出してください。」の請願採択について	3/25	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×
TPP交渉並びに米政策に関する意見書について(発案)	3/25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

3月定例会

集積が困難な農地に対する 保全の必要性を問う

町長 自然景観の保全のためにも、農地が農地として維持されるよう取り組む

今井 若狭町における人・農地プランの取り組み状況は、

産業課長 平成24年12月より取り組み、この一年間で中心となる経営体が56から75に増えている。現在、組織体では法人が19、集落営農組織が9、営農組織検討中が1となっているが、農地集積率が県平均より低く、また中心となる経営体への農地貸付協力意識が高まって来ない。今後、経営転換協力金や農地貸

町長 圃場条件の悪い農地は借り手が見つかりにくいことが予想される。その結果、自然景観を損なうことにつながる。

町長 集積困難が予想される地域については、地域農業サポートプラン事業や中山間地域直接支払制度



今井 富雄 議員

町長 圃場条件の悪い農地は借り手が見つかりにくいことが予想される。その結果、自然景観を損なうことにつながる。

の活用など周知に務める。更には、県が園芸導入による所得向上支援作物と進めるネギ、キャベツ、ブロッコリー等の栽培促進にも取り組んでゆきたい。

人・農地プランによる農地保全を進めるにあたり、中心となる経営体が存在しない地域の方には、農楽舎の研修修了生受け入れの検討を願いたい。



▲自然景観の保全



渡辺 英朗 議員

「福井国体」について
渡辺 ソチオリンピック・パラリンピックが開催され、2020年の開催都市が東京に決定するなど、スポーツへの関心が高まっている。平成30年には福井県で国体が開催されるが、町はどのように捉えているのか。
教育長 町民のスポーツへの関心を高め、更なるスポーツ活動の普及・発展に寄与する絶好の機会であると考えている。
渡辺 若狭町で開催されるグラウンドゴルフとゲートボールの大会は、ど

策は。
教育長 平成25年度より県の国体強化対策事業で有望選手への強化指導が行われている。一人でも多く出場し、好成績を納められるよう支援や選手育成についても検討し



▲多目的交流広場

のよつに運営されるのか。
教育長 都道府県対抗の得点対象とならない「公開競技」であり、日本グラウンドゴルフ協会と日本ゲートボール連合が主導で準備から開催運営までを行うと聞いている。県や町の競技団体とも連携を強め、取り組みたい。
渡辺 会場となる多目的交流広場の整備状況は。
教育長 3月末に完成予定。ゲートボール会場は平成26年4月から、芝生広場は、芝の養生期間を経て、秋季に一般開放する予定。広場の愛称も今後、募集する。

渡辺 選手の強化育成策は。
教育長 平成25年度より県の国体強化対策事業で有望選手への強化指導が行われている。一人でも多く出場し、好成績を納められるよう支援や選手育成についても検討し



北原 武道 議員

「福井国体」後、施設をどのようにに活用していくのか。
教育長 子どもから高齢者まで幅広い世代に気軽に利用して頂き、交流人口の拡大にも活用したい。

町長 「再稼動は困る」と進言はしない。原子力行政は、国が二元的に責任をもって推進することになっている。安全性の確保が最重要であり、安全性については、規制委

町長 「再稼動は困る」と進言はしない。原子力行政は、国が二元的に責任をもって推進することになっている。安全性の確保が最重要であり、安全性については、規制委

町長 農業振興はもとより、農村環境と地域文化を次世代に引き継ぐ上でも、TPPへの参加は反対である。
北原 本町の「新しい原子力防災計画」「避難計画」はいつできるのか。
町長 平成26年度に策定してまいりたい。
北原 仮に、大飯原発あるいは高浜原発が「規制基準をクリアーしている」と判断された場合、町民の安全・安心に心をいたすなら、知事に「再稼動は困る」と進言するべきだ。

町長 「再稼動は困る」と進言はしない。原子力行政は、国が二元的に責任をもって推進することになっている。安全性の確保が最重要であり、安全性については、規制委

一般質問

(文責：質問者本人)



町長 森林公園は、今は、河内川ダム工事のため、

町長 森林公園の現状と、下方で行われている河内川ダムと、その周辺整備計画がどうなっているのか、そして森林公園を含む上中地域の観光の名所である、熊川宿、上古墳群、瓜割の滝をつながり合ったサークルとして整備すればよいと考えますが、その状況と町の今後の考え方を伺います。

町長 道路につきましても、台風18号の状況を見ましても明らかのように、住民の生活に多大な影響を及ぼしますので、道路橋梁とも調査を重点的に、これから詳細な作業を行い、順次改修してゆきたいと思えます。それから財源確保ですが、幹線道路の整備は県、国の助成措置を活用しながら順次計画的に対応してゆきたいと考えています。



▲河内川ダム工事

「福井国体」に向けた準備の進捗状況は
教育長 準備委員会を設置し、具体的な取り組みを進めていく

町長 旧両町の均衡ある発展と融和を目的に多くの事業を行う為、高率補助のある地方債を利用してきたが更に選択と集中による事業実施により地方債残高の減少に努める。
小林 現在の借金133

町長 霊柩車の使用料



▲世久見漁業集落排水処理場

町長 旧両町の均衡ある発展と融和を目的に多くの事業を行う為、高率補助のある地方債を利用してきたが更に選択と集中による事業実施により地方債残高の減少に努める。
小林 現在の借金133億の内交付税算入分を差し引き支払うべき金額は。総務課長 交付税で算入される額は80億、従い53億が支払い必要額である。
小林 17ヶ所の下水道処理施設があり平成34年には一番古い施設が耐用年数に達する。修理や改修の目的で個人積立を開始したらどうか。
町長 施設の更新や修理の費用は料金で賄う事が原則。人口減少による使用料減収も避けられず更新の為に安定して財源を確保する為には料金改定も視野に入れねばならない。
小林 葬祭料の見直しが必要ではないか。
町長 霊柩車の使用料

町長 施設は、更新や修理の費用は料金で賄う事が原則。人口減少による使用料減収も避けられず更新の為に安定して財源を確保する為には料金改定も視野に入れねばならない。
小林 葬祭料の見直しが必要ではないか。
町長 霊柩車の使用料

町長 実情に合わせた体制作りが必要。60才70才の皆さんにも積極的に関わっていただきたい。



辻岡 正和 議員

若狭森林公園河内の森の観光資源としての運用と今後の取り組みについて伺います
町長 今後の河内川ダム工事及び周辺整備の進捗に併せて取り組みたいと思います

町長 道路につきましても、台風18号の状況を見ましても明らかのように、住民の生活に多大な影響を及ぼしますので、道路橋梁とも調査を重点的に、これから詳細な作業を行い、順次改修してゆきたいと思えます。それから財源確保ですが、幹線道路の整備は県、国の助成措置を活用しながら順次計画的に対応してゆきたいと考えています。



小林 和弘 議員

町長 霊柩車の使用料

町長 実情に合わせた体制作りが必要。60才70才の皆さんにも積極的に関わっていただきたい。

県内最悪の財政をどうするか

選択と集中の事業実施で借金減少を

ダイジェスト版 1

住民からの意見や要望等 アンケート結果報告

議員と語る会

去る平成24年11月7日～21日に町内11会場で開催し、総勢250名余りの方が会場に足を運ばれ、まちづくりによるあらゆる視点から意見や要望等についてのアンケート(59件)も頂きました。大変、遅くなりましたが今回、結果報告をさせていただきます。尚、皆様のご意見は、それぞれ多岐にわたり果たしてこれらすべてを町政に反映出来るものかどうか、議員間の意見調整が必要な事柄も数多くございます。今後もその内容を真摯に受け止め、取り組ませていただきます。

アンケート意見・要望内容	回 答
原発は、若狭町が中心なんです。美浜、高浜、大飯、すべて30キロ圏内です。もう少し議会でどうにかならないですか？これが最優先じゃないんですか。(常神：40代男)	現在、県外避難について兵庫県の丹波地域、北播磨地域の8市町と協議を行っています。今後は、各集落別の避難先や避難経路が確定した段階で、若狭町の避難計画として公表されます。今後の運転は、規制委員会(国)に委ねられています。
原発問題に関して大飯発電所の問題があり(活断層)、今後運転されるのか？見直しは必要もしくは調査がなされているのか？不安というか、地震が発生した場合、福島への舞にならないかという点。(伊良積：20代男)	改選で遅れましたが、新人も含めご意見、ご要望を議論し、なかには行政に反映出来た案件もあります。
原発事故時の避難先を確保して、事業仕分けをしてはどうか。(南前川：60代男)	
住民の意見を反映できる議会であってほしい。頑張ってください。(小川：50代男)	
要望、意見等を議会でしっかり話してください。(田上：40代男)	
サクラ、モモに加えてモミジなど四季を楽しめる草花を植えるといいと思います。小浜などは、地区で芝桜を植えているそうですね。	町は県の指導を受け「花と光・桃源郷の里プロジェクト」という景観づくりの事業を実施しています。三方五湖周辺や常神半島にハナモモを植えます。「緑化推進事業」として希望集落にサクラや他の樹木も選択して、苗木を渡して植樹していただいています。草取りや水やりなどの手入れが必要になりますので、継続できる方法を考えながら実施していただきたい。芝桜については、若狭町でも「農地・水・環境保全向上対策」により法面等への植栽がされています。
自由保育も、どこをどこまで自由にするのかを考えるべきではないかと思います。(小川：40代女)	いい保育を行うためには、保育士同士の協力や保護者の理解、協力が欠かせません。つまり「ひとりよがり」では本当の保育はできません。保育所(保育園)と保護者の要望を聴き、議会としても努力します。
議員数は14人で良い。あと2人減を！(西田地区：50代)	町の財政状況、人口減少や情報機器の進歩の社会情勢、女性や青年など幅広い層からの議会進出、議員報酬などを検討材料に、今後とも適正な議員定数を議論していきます。
空家調査の結果をいかし、住民を増やして欲しい。(海山：40代男)	平成24年5月調査の町内の空き家状況は、空き家299戸、その中で売却希望17戸、賃貸希望13戸であった。平成23年に立ち上げた「空き家バンク」には35戸が登録され、移住・定住の受け皿として17戸の契約が成立し、活用されている。今も登録数、定住者数が増えており今後も継続して取組んで行く。
一人暮らしの方が亡くなられたり移転されたりして、空き家の数が増えてきております。今後、空き家の活用方なり、維持管理について考えていただければ幸いです。(長江：40代男)	
若狭町の借金が県下で上位にあるのが気にかかります。(世久津：50代男)	合併後、上中・三方地区の融和と均衡ある発展を目的とし、福祉施設や道路等の整備の大型事業に取り組んできた。また、優位な国庫補助事業を活用した学校の耐震化工事により、一時的に地方債の発行が集中している。今後は将来を見据えた計画的な地方債発行により、地方債残高を抑制していく。
県内で負債ワーストになっていますが、何が原因ですか。いつ償還できるのですか。他の町より住民税も高いように思いますが。(中村：60代男)	

一般質問

(文責：質問者本人)



島津秀樹 議員

島津 直接支払交付金が減額される今回の改革で小規模農業者に対して、町独自の補助金制度は考えられないか。

町長 農地集積を進め経営規模拡大で安定した農業経営を目指す事が必要である。町独自の補助金は考えていない。

島津 使用率の低い個

町長 国の農業政策改革を受けての町の小規模農業者への支援策は意欲のある方々が手を組んで、集落営農等農地集積を図り、経営安定を図ってほしい。

人の農業機械を共同利用する登録制度を設け、それを補助する制度が出来ないか。

町長 現在は、そういう制度はないが、今後研究していく。

島津 現在の農地水保全管理支払制度が日本型直接支払制度として創設されますが、この活動に取り組んでいる組織の状況は。

町長 制度対象となる62集落のうち53集落、85%が取組んでいる。

島津 この制度への取組は、申請書類の作成や会計処理が大変で、今後制度を利用する組織を増やす為の町の支援は。

町長 農村環境の保全を進める為にも、この制

度は有効であるので、未実施集落への説明会開催で働きかけを行い増加に取り組む。



▲農業機械による耕作風景



視察報告

Inspection report

平成25年11月21・22日、議会全員で、島根県益田市虫追町「石見臨空ファクトリーパーク」の工場視察をしました。

益田市は、若狭町と平成24年4月に防災面の協定締結をされ、人口約5万人、世帯数2万1千世帯、面積約733km²と島根県総面積の約1割を占めて最大であり、総面積の大半を林野が占めている所です。

市政との共通面の課題と雇用につながる企業誘致政策促進のモデル的政策に参考になることをねらいとして視察を行いました。

■視察を終えて

企業立地の支援事業優遇制度はレンタル式工場にして、業種工場のニーズとスキルに合わせた立地の投資は行政で行い、合併特例債を利用され、貸し工場、いわゆる月間使用料(賃貸)をもって、

そこまで踏み込んだ新規雇用確保面に大変な努力と苦慮をされていきました。

わが町にとっては適正化、行政面の多額の前投資が必要なおことから、投資に見合った成果があるか、色々と賛否両論があると感じました。

ただ、現状のわが町の企業誘致政策促進をどう検証し、今後の研究に取り組みか、それらは鍵であるということを感じをもって報告と致します。



▲工場視察状況

アンケート意見・要望内容	回 答
通学路の整備に関して、もう少し優先順位を上げるべきでは？ (三生野：40代男)	通学路の整備は、集落要望や地区要望（学校の要望も取り入れ）として提出される（この段階で優先順位が付いている）のが普通です。ただし、優先順位が高くて、国県の補助基準（通行児童数など）を満たさず、町としては見送る場合もあります。特別考慮すべき事情があると感じる場合には、直接あるいは議員を通して、町にご意見を述べて頂くのも1つの方法です。
(協働のまちづくり) ・地域づくり協議会の内容が不明で分からない。 ・市町合併について進めてほしい。 (三生野：40代男)	「地域づくり協議会」は、今年度、立ち上がりました。今では実際に活動しています。活動の拠点は、各地区の公民館です。活動や組織のあり方などでご意見がありましたら、お聞かせください。自治体合併については、現在これをテーマにして議会で議論したことはありません。議員によって色々な意見があるものと思われまます。
歩道がなく集落でも要望していますが、早期実現をお願いします。 (山内：40代男)	県道上中田烏線の山内から国道北脇袋交差点の話と仮定してお答えしますが、この県道では道路の沈下対応工法として道路を拡幅補修を終えました。沈下が収まった後には残った用地の歩道転用も考えられなくはないとのことから、今後町としても有効な道路活用整備を要望していきます。
県道を整備してほしい。(歩道をつける) (山内：40代男)	
舞若道の若狭上中IC設置に伴う環境問題、様々なことを想定し対応されたい。 「一隅を照らす」感謝状贈呈を検討されたい。行政功労者だけでなく、地域住民のためにコツコツと努力している人に光を当ててほしい。 (持田：60代男)	景観（法面の植栽）等も含め、中日本高速道路株式会社で対応している。 各地区公民館や地域づくり協議会とも連携しながら地域の情報を共有し、行政功労者、ボランティア活動者等幅広く検討していくよう要望していきます。
(要望) ・働く場所の確保(工場の誘致等) ・若年層の就職難(正社員) ・独身者が多い 3点について活動してほしい。 (持田：60代男)	働く場所の確保として、企業誘致に取り組んでいる。また、若年層の受け入れについては、新規進出の企業をはじめ既存企業等をお願いしている。企業振興条例により企業の設備投資に対し助成金を交付しているが、助成金の交付額に応じた新規雇用の条件もあり、より多くの就労機会の確保に取り組んでいる。 また、次世代定住促進事業において、移住や定住促進に取り組んでいる。その事業の中で、出会いの機会をつくること、婚活イベントなどを実施している。町では、結婚の促進に力を入れており、婚活イベントの開催や若者の交流支援などを行っています。昨年度の婚活イベントで知り合った男女1組が結婚に結び付いた成果もでており、今後も継続していきたい。
「協働のまちづくり」推進のための人的、物的な整備を、各地域づくり協議会等での意見や要望を聞きながら進めてほしい。(これは町行政への要望) 事務的なことなどもすべて各地域でと言うのは無理がかかり、長続きしないことも考えられる。議会としてどのような対策が有効かを検討していただけるとありがたい。 (相田：60代男)	地域づくり協議会が立ち上がり、地域の自主的・主体的な活動が始まっている。町では地域づくり室を設置し、地域づくり協議会との連携を密にし、意見や要望を聞きながら進めている。また、地域でできることは地域で、地域でできないことは行政と協力して、または行政が取り組むなど、お互いが連携しながら、役割分担しながらまちづくりを進めている。
客観的に見ていると、上中地区の方向性が強く感じられます。もっと三方地区の意見を通してください。 (相田：60代男)	若狭町が誕生して、来年は町制10周年を迎えます。上中地区・三方地区と言わず、若狭町としてバランスのとれた事業計画等を策定し推進して参りますのでご理解をお願いします。
保育所が自由保育となっているため、子供が孫の教育のことを考えて地元へ帰ってくることを嫌がっている。自由保育に賛成している人がいるということを知ったことがないのですが、改善されませんか。 (藤井：50代男)	町立の保育所（保育園）に比べて、西田の「梅の里保育所（私立）」に入所を希望される方が多いのは事実です。平成25年9月議会の一般質問で、町長は「保育所（保育園）の民営化も検討すべき時期になった」と答弁しています。
保育料が高い安いの理由ではなく、中身の問題です。西田の保育所は人気があると聞いています。人口の減少を止めるために、あらゆる方法を試してほしいと思います。 (藤井：60代男)	

アンケート意見・要望内容	回 答
協働のまちづくり、「まちづくり協議会」西田地区の進捗状況を教えてほしい。 (伊良積：40代男)	西田地区には、「梅の里地域づくり協議会」と「西浦地域づくり協議会」があります。 「梅の里地域づくり協議会」は、平成25年4月22日に設立し、住民アンケートの実施、先進地視察、講演会の開催、台風災害後の清掃活動、軽トラ市などの活動を行っている。 「西浦地域づくり協議会」は、平成25年3月12日に設立し、防災体制づくりや高齢者支援体制などの検討、町内観光スポット研修会、地域の子供と高齢者との交流会を実施した。その他、婚活イベントなども計画。
北陸新幹線の若狭ルートについての意見を、早くから取りまとめる必要があるように思います。若狭町内でのルートのこと。 (伊良積：60代男)	北陸新幹線の金沢～敦賀間の着工について平成25年6月29日に認可され、8月19日、JR福井駅で起工式が行われ、県内区間の工事に踏み出した。しかし、敦賀以西については、小浜経由で敦賀から大阪までをつなぐ「若狭ルート」が、1973年に閣議決定された整備計画となっているが、具体的なスケジュール等については見えていない。災害に強い国土構造が求められる中、東京～大阪間を日本海側でつなぎ、東海道新幹線と相互に支えあう、日本海国土軸を形成するためにも、早期の大阪までの全線整備に向け、県および近隣市町と連携を深め、取り組んでいる。
(北陸新幹線について) 敦賀まで北陸新幹線が通ることになったが、その先がどうなるのか決まっていなくて、嶺南地区はどうするのか議員さんが先頭になって考えてほしい。 (大鳥野：50代男)	
梅の件について、個人の各バザー出店の補助に町としてどのように考えているか。	ソーデーマーチ、若狭町祭等に出演する場合、それぞれ出店料が必要です。町内の方の場合は2,000円、町外の方は20,000円と差を設けて、町内の方が多く参加してもらえるようになっています。このため産業課での補助制度はありません。 直売所(エコファームみかた、たいしたもん屋)、トラック市等への出品、出店についても入会金(年会費)や販売手数料等が必要です。その金額については会員の皆さんで決めておられます。 福井県管理の国道です。敦賀土木事務所に対策をしていただくよう要望してきており、今年度ようやく改良工事がなされます。
162号線の水対策で、町としてどのように考えているか。 (田井野：50代男)	
対面での話し合いの場 とても有意義であり、今後も継続してほしい。又、議会への要望ポストなんかも作ってもらえたらいいかなと思いました。 (田井野：60代男)	これからも定期的に議会との意見を交換する場を設けていきます。また、議会ホームページを開設して、情報公開と説明責任を果たし、住民の皆さんからのご要望やご提案を承りたいと思います。(議会事務局宛)
町で生まれ育った者もそうだが、他のところで生まれ育った者も住みたいと思う魅力のある町づくりを進めていただきたい。魅力を生み出すアイデアと行動力を住民からくみ上げていただきたい。よろしくお願いします。今回は、勉強になりました。ありがとうございました。 (井ノ口：50代男)	
先ほど発言の学校統合の件で、「すべては子供のために」ということを前提に考えるという発想、その通りだなと思いました。いろいろ学校統合となると難しいと思います。集落統合と同じで歴史的にも環境面でも壁は大きいと思いますが、少ない児童数で悲しい思いをしている子供が一人でもいるのなら、大人は真剣に取り組まなければならないと思いますが。 (麻生野：40代男)	「小規模校を放置しておくのはよくない」というご意見のようです。学校統廃合は、実施する場合でも、十分議論を尽くし、住民合意のもとに行わなければなりません。議会では、学校統廃合について、今のところ具体的なテーマとしてとりあげて議論したことはありません。
学校の統合を進めてほしい。 (三生野：40代男)	
小学校の合併の話、考えさせられました。 (小原：40代男)	
自分の意見を聞いていただけたので良かったです。貴重な体験でした。今後、村が街に都市に変わっていくのが楽しみです。それに向けた運動をよろしくお願いします。 (麻生野：30代男)	若狭町としては「次世代の定住促進」と「住民自治の推進」を柱に、若者の定住を促進するため、住宅団地の整備を行っています。これからは地域づくり協議会をはじめとする地域の自主的・主体的な活動を支援し、若狭町の発展につなげたいと考えています。
行財政改革をしっかりと進めるべき。 (三生野：50代男)	平成24年に行政経営戦略会議を立ち上げ、行政経営に関する課題と必要財源等を検証し、行政経営の実施方針をとりまとめた。この内容を基に、平成25年において行財政改革チームを立ち上げ、現在、行財政運営の方向性についてまとめております。

アンケート意見・要望内容	回 答
<p>エコクル美方の平日解放、土曜日の終日までの解放を要望します。会社員にとっては土日しか休みがない。</p> <p>伝統文化(地域)について、助成金を補助していただきたい。(歴史ある何十年～何百年の祭等)井崎地区として山車を計画しているが、どのような基準で補助がなされているのか聞かせてほしい。</p> <p>(井崎：50代男)</p>	<p>エコクルのゴミ受入時間については、平成25年6月議会の一般質問で取り上げられ、昼休み(12時～13時)も受け入れるように改善されました。(7月から)ただし、営業曜日・時間は変わらず、月～金の8:30～16:00と第2・第4日曜日の午前中です。</p> <p>祭り用品の補助は、宝くじを財源として、希望した集落に行われます(上限250万円)。本町では毎年3～4集落が受けています。現在8集落が順番待ちです。</p>
<p>若祭の縮小賛成です。バス無駄です。ゆかたミスコンおかしいです。他の市町から出し物と呼ぶのもおかしいと思います。</p> <p>川とく前交差点や野村スタンド横の雪、中学生のバス停でもあまり危ないので除雪してほしい。国道から入れないで困ります。</p> <p>(能登野：50代女)</p>	<p>若祭では、未来の子ども達に伝えたい町の宝「食・歴史・文化・自然・心」を発信し、賑わいのある、活力あるまちづくりを展開していくことを目的に実施しており、議会としては住民がボランティアで組織している運営部会において、毎年今までの反省点等を検証し、よりよい祭りとなるよう企画から運営まで行っていただいております。今後も、住民の皆さまや観光客に愛される祭りとなるよう、見直すべきところは見直し、またより充実すべきところは充実させていきたいと考えております。</p> <p>国道の除雪が1日に何度も行われるため、町道の入口を除雪しても、国道で除雪された雪が町道をふさぐことがあり、国と連携をとりながら除雪体制を実施します。県道についても、県の方にお申し出の旨、連絡しておきます。</p>
<p>原材料支給事業の、成功事例集を出してください。</p> <p>(三方：60代男)</p>	<p>事例集としてまとめることは現時点では考えていない。取り組まれた原材料支給事業の活用例を紹介すると、水路、公園整備で水路整備は、素掘りの溝にU字溝を設置している。その他では手作り遊具を整備された集落や、道路をコンクリート舗装された集落もあります。</p>
<p>この会を定期的に実施し参加者を増やすため、会の案内、話し合いの内容等を事前に決めればどうか。</p> <p>(三方：60代男・鳥浜：60代男・安賀里：60代男)</p>	<p>会の開催回数を重ねることによる口コミによる拡がり、住民の皆様の忌憚なきご意見を基本に考えております。また、意見交換のテーマを決め、事前にお知らせします。</p>
<p>古い行事など、若い人にとって集落で暮らすことは大変だと思いますが、最近特にデメリットばかり言われるように思います。メリットも結構あるのでメリットを強調することも大切なのではないかと。</p> <p>(中村：50代男)</p>	<p>何をメリットと感じるかデメリットと感じるかは、人によって違うのではないのでしょうか。いろいろな生き方が許容される(認め合う)社会でありたいものです。</p>
<p>文化祭、老人の催しやは1年交代で三方、上中でするように。</p> <p>(中村：70以上男)</p>	<p>町レベルの催しと言っても、たいていは団体主催です。団体主催の催しは、団体の自主性にまかせたいものです。町主催の催しでは、戦没者追悼式が三方・上中、1年交替で行われています。</p>
<p>町道山裾の道に出ている木の伐採。(町管理の道でなくても伐採) 議員の手当てを、日当にする。</p> <p>(中村：60代男)</p>	<p>木の所有者がおられますので、所有者(地元)で対応して下さい。 日当制については検討されていません。</p>
<p>芋から気山小学校まで約3キロあり、朝7時前に家を出て通学しているが、1時間かかります。朝だけでも送迎用のマイクロバス等の手配を検討したい。(特に冬季)</p> <p>(芋：50代男)</p>	<p>小学校児童の通学条件が最も厳しいのは、芋であることは事実です。現在、通学の援助をしている集落については、通学距離など、個々に理由(基準)があります。芋については、残念ながら、現在あるどの理由(基準)もあてはまりません。</p>
<p>集落が元気になることを支援してもらいたい。(須恵野焼の振興)</p> <p>(末野：60代男)</p>	<p>今年度から校区ごとに「地域づくり協議会」が立ち上がり、地域住民が主体となって地域づくり活動が行われている。地域づくり協議会と行政、相互に協力し合い、地域や集落が元気になるよう取り組んでいるが、各々の地域の活動によって差がでてくるのが懸念されることを注視していきたい。</p>

ご協力ありがとうございました。

アンケート意見・要望内容	回 答
<p>高齢化、老人世帯、一人暮らし等を支援するためにも、除雪を幹線道は早めの対応をお願いしたい。特に旧道は生徒の通学等に支障をきたすため、又救急車が通れるよう財源(予算)を確保してほしい。毎日の生活がスムーズにいくことがまず一番大事なことだと思います。</p> <p>(藤井：60代男)</p>	<p>除雪につきましては、できるだけスムーズな除雪を心がけていますが、雪の降り始めの時間や降り方によっては通勤通学の支障になることがあります。できるだけ喜んでいただけるよう行政と連携をとりながら、除雪体制をとっていきたいと思います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 明倫地区でも拠点となる場所、人員の配置を今後考えてほしい。 協働のまちづくり、住民と行政の協力が重要。行政の方も積極的に住民にかかわるようにしてほしい。 明倫小、保育所が存続できるように手立てを、住民も行政も努力すべきである。 <p>(藤井：60代男)</p>	<p>「地域づくり協議会」(小学校区ごとに設置)を、町づくりの主体として位置づけている以上、当然のご意見です。三方地区では、地区公民館は3地区(三十三、三方、西田)に1つずつしかありませんが、小学校は、みそみ、明倫、三方、気山、梅の里、岬の6校が存在するという歴史的な複雑さがあります。今後「地域づくり協議会」を機能させながら、その活動拠点もつくっていかねばなりません。議会としても、いろいろ議論していきたいと思えます。</p>
<p>先日インフルエンザの予防注射を受けましたが、若狭町は敦賀市内の病院よりも高い。せめて嶺南地域内だけでも価格統一を努力してほしい。(町内の病院離れの問題)</p> <p>(南前川：60代男)</p>	<p>若狭町民(65歳以上)の方が本町発行の「接種券」を用いて予防注射を受けた場合でも、自己負担額は病院によって異なります。補助制度は自治体によって異なり、敦賀市には敦賀市民に対する補助制度があります。地域差の解消はいうまでもなく、医療・福祉をよくすることは自治体の根本的使命です。議会としても努力します。</p>
<p>本当に合併は良かったのか?今だに上中、三方と言っている。</p> <p>町職員のモラル、マナーが悪い。(窓口対応を考えてほしいという意見ありました。)</p> <p>(倉見：50代男)</p>	<p>時間がかかりますが、良いと思っていただけるように頑張っています。</p> <p>町では、住民の皆さまに対してやさしく、丁寧に接し、誠実な行動で信頼を築かせていただくため、「職員行動指針」を定めています。この職員行動指針を常に心がけて対応させていただくため、専門講師による接遇研修や、指針を毎朝唱和するなど、職員の意識改革を図り、議会も住民の皆さまに対応するよう指導を徹底しております。</p>
<p>白屋区から交差点の改良要望がありました件、やはり事故が多いので考えてほしい。</p> <p>(岩屋：50代男)</p>	<p>国道27号線の成願寺交差点は、町としても改良の必要性を感じていますので、根気強く国へ改良の要望をしていきたいと考えていますので、ご理解ください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> TPPIに対する議会の方針を明確にしてもらいたい。 岩屋の観光農園の今後をお聞きたい。 <p>(高岸：60代男)</p>	<p>米を含む重要品目5項目については、関税に対する引き下げ譲歩を一步たりともしないで欲しいとの要望書を政府に提出済みで、この線で活動を続けていきます。</p> <p>昭和31年開始、栽培規模のピークは生産者数50名、栽培面積10haであったが、現在は半分に減少している。観光客数も約2,000人とピーク時の半減以下となっている。今後、高齢化が栽培面積の減少につながらないか懸念されるが、生産組合、JA、行政等関係機関が一体となり、新たな担い手づくりが必要と思われる。</p>
<p>若者が町外に出て行ってしまふことの無い、魅力的な地域づくり、まちづくりをお願いします。</p> <p>(東黒田：30代男、40代の方、50代男)</p>	<p>次世代の定住促進は町づくりには一番重要なことであり、町としても「若狭町次世代定住促進協議会」を設置し、若者の定住、Uターンを進めています。働く場所、住む所、日々生活をするための環境づくりが必要です。働く場所については、町内98事業所が連携した「事業所ネットワーク」を活用し雇用の増大を図ると共に「企業振興条例」の規定に基づき、企業への財政的支援を行います。住む所については新たな住宅団地の整備を上瀬、天徳寺において進めます。環境づくりについては特に自然環境を重点に置き、常神半島や五湖周辺での植栽や熊川宿、瓜割公園の充実等を進めて参ります。また婚活事業での出会いの場づくりを積極的に進めて定住促進に努めております。</p>
<p>若狭町の人口の流出及び自然減少が心配です。若者定住促進事業は何かしておられますか。</p> <p>(倉見：50代男)</p>	
<p>子供たちが、ここに住みたいと思うような町づくりをしてほしい(親としても教育していくが、就職先、企業誘致)</p> <p>(寺谷：40代男)</p>	

議会の動き



1月15日 農楽舎平成25年度研修発表会



1月28日 美浜町・若狭町議会振興協議会



2月4日 小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会研修会



2月26日 若狭町防災会議



3月25日 舞鶴若狭自動車道視察



編集後記

梅の花が咲く頃 卒業、退職

桜の花が咲く頃 入学、就職

と節目の季節。

4月からは消費税が5%から8%・10%にこれも節目。

若狭町が誕生して十年を迎えます。

一つの節目として、十周年記念に向けた各イベントが予定されています。

本年、夏頃「舞鶴若狭自動車道」が全線開通します。観光、産業、流通等に期待がかかります。

町民が豊かで住みよい町だと実感することが、一番大切だと思っています。

(坂本豊)

